

みんなで考えよう 将来の「土地利用」のあり方 三穂地区 土地利用計画策定 地区懇談会だより

ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」

第2回 地区懇談会を行いました

日時 平成17年9月10日(土) 13:00～17:00
場所 JA三穂支所
参加 検討委員16名、事務局5名

当日は、まずバスで地区の良い所・課題のある所などを廻り(タウンウォッチング)、地区の現状を自分達の目で再確認しました。その後、JA三穂支所で3つのグループに分かれ、ワークショップを実施しました。

ワークショップでは、第1回懇談会での意見を踏まえて三穂地区の「良い所」「課題」を含めた現状の土地利用形態について、マップを作りながら確認しました。

その後、将来こうあって欲しい土地利用についてグループ毎にイメージマップを作りながら三穂地区の現状や将来像について議論しました(地図に記入された主な意見は裏面のとおり)。



地区内を歩いて回りました(棚田を見えています)



グループに別れて現状を確認しました



地図を見ながら将来像を議論しました



作成した地図(各班現状 将来の2枚)を発表しました

～ 第 2 回 地区懇談会で出された主な意見 ～

三穂地区の現状確認(各班のまとめ)

よい所・宝

【自然・景観】

水晶山・西山・弟川・清流阿智川・カタクリの里・農村の原風景(立石仁王門周辺、棚田)柿すだれ・坐禅草群生地・ギフ蝶・柳桜から望む立石の眺望、下瀬から見る天竜川の眺望南アルプスの眺望

【歴史】

立石寺・仁王門・土蔵のある住宅・夫婦杉小笠原屋敷と桜、柳桜、小笠原資料館

【文化】

立石祇園まつり、浦安の舞、鯖すしまつり

【その他】

下瀬観光農園の前向きな取り組み・桜を活かそうとする地域の取り組み・三穂幻豚・しあわせ村・京ちゃん工房(農産加工)・JA周辺の小さな町づくり

課題

【公共施設】

飯田温泉の活用・立石区民が集う拠点施設や避難施設がない

【交通・道路】

県道を含め道が狭い・複雑な交差点(下瀬国道)が危険・冬季の除雪が不十分・道路に凸凹があり危険・竹藪が荒れて道路の視界を遮っている

【産業】

工場団地が手つかず・下瀬観光農園に大型バスが入れない・家畜糞尿臭・稲洞の堤の確保ができてない

【景観】

仁王門周辺の電柱が景観に良くない・水晶山の眺望の悪化・休耕地(荒廃)・弟川に親しむことのできる仕組みがない

各班で将来こうあって欲しい土地利用等について発表しました

共通意見： 優れた自然・文化・景観を将来に残し伝えたい。
地域の資源を活用し、守り育てていきたい。そのキーワードは「交流・観光」。
今の暮らしや農業を含む産業のためには、使いやすい道路整備が必要。

Ａグループ

歴史・文化とふれあい農業のまち“三穂”

- 水晶山～西山の「山と水の資源」を活かしたゾーン
- 阿智川周辺のキャンプ・リゾートゾーン
- 立石地区の景観を活かした観光と農業体験など、農業との調和ゾーン
- 下瀬地区の観光農園と交流による都市住民の癒し・保養ゾーン
- 県道親田・中村線沿いに適度な商店街と住宅

Ｂグループ

今ある資源を後世に残す“自然との共生”

- 水晶山北側を森林空間整備地区に
 - 伊豆木の棚田保全
 - 下瀬・伊豆木の観光農園育成
- 西山・地区財産区林の保全
立石の農地景観保存
マレットゴルフ場の拡大・整備

Ｃグループ

豊かな自然と歴史・文化の里

- 水晶山周辺における棚田保全
 - 財産区林内における松茸観光ゾーン
 - 立石皆文化構想
 - 下瀬福祉の里・観光農園
- 天満宮伊豆木人形の復活
JA支所上の工業地で雇用の拡大
小笠原文化の継承
クラインガルテンで都市との交流

次回(10月以降)からは、これまでに出版された内容を更に具体的に検討していく予定です。

土地利用計画に関することや、地区懇談会だよりは、飯田市ホームページでもご覧になれます

ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」

懇談会の模様を「懇談会だより」として、皆様にお届けします。ご意見、ご感想等ございましたら、下記までご連絡ください。



飯田市役所 〒395-8501 飯田市大久保町 2534

21-3217 Fax52-6181 E-mail: ikikaku@city.iida.nagano.jp

企画課・管理計画課・農業課・農業委員会事務局

連絡先 農業課 担当：中平